

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	GT-L206/ボンフロンHBC＋落書防止クリヤー工法					
◇適用素地	RC、モルタル、普通プレキャストコンクリート板、スレート板					
◇使用材料	下塗	ABFホワイトプライマー	主剤 硬化剤	10.0 kg 1.0 kg	11.0 kg / セット	
		ABF#600Aシンナー	シンナー		16.0 ℓ / 缶	
	中塗	ボンフロン#1000HB中塗	主剤 硬化剤	15.0 kg 3.0 kg	18.0 kg / セット	
		ボンフロンシンナー	シンナー		16.0 ℓ / 缶	
	上塗1	ボンフロンGT#1000	主剤 硬化剤	13.0 kg 1.0 kg	14.0 kg / セット	
		ボンフロンシンナー	シンナー		16.0 ℓ / 缶	
	上塗2	ボンフロン落書防止クリヤー	主剤 硬化剤 添加剤	10.0 kg 2.3 kg 0.6 kg	12.9 kg / セット	
		ボンフロンシンナー	シンナー		16.0 ℓ / 缶	

工程		使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
						工程内	工程間	
素地調整		被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。						
1	下塗	ABFホワイトプライマー 主剤 / 硬化剤 = 10 / 1	専用シンナー 10 ~ 30	0.09 ~ 0.11 0.11 ~ 0.15	1	—	16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン#1000HB中塗 主剤 / 硬化剤 = 15 / 3	専用シンナー 10 ~ 40	0.07 ~ 0.09 0.09 ~ 0.12	1	—	16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
3	上塗1	ボンフロンGT#1000 主剤 / 硬化剤 = 13 / 1	専用シンナー 10 ~ 40	0.07 ~ 0.09 0.09 ~ 0.12	1	—	16h以上 7日以内	刷毛・ローラー エアレス
4	上塗2	ボンフロン落書防止クリヤー 主剤/硬化剤/添加剤 = 10 / 2.3 / 0.6	専用シンナー 0 ~ 5	0.08 ~ 0.09 0.09 ~ 0.13	1	—	—	刷毛・ローラー エアレス
合 計					4			

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

- 注2) ボンフロン落書防止クリヤーは、主剤・硬化剤・添加剤の3液タイプになっています。
 注3) ボンフロン落書防止クリヤーは、配合前に主剤を良く攪拌してください。
 注4) 艶ありのローラー施工は、なるべく短毛を使用してください。
 注5) 雨ずじ汚れに関しては、一般の溶剤系塗料に比べて汚れやすい傾向にあります。
 注6) 落書を除去する際は、塗膜表面が傷つかないように注意してください。
 注7) 除去剤としては、市販されている落書き除去剤「消すぞーくん」(シントーファミリー製)を推奨します。
 注8) 上塗2(ボンフロン落書防止クリヤー)の工程で短毛ローラーを使用する場合は、上塗1の塗膜を十分乾燥させるため塗装間隔について次の点にご注意ください。
 (上塗1の乾燥が不十分な場合、上塗2の施工時に「にじみ」等の発生により変色・色ムラ等が発生する可能性があります。)

注9) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン落書防止クリヤー	○	×	×	×	○

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので所要量を遵守して下さい。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
 塗装工事における留意点<<強・弱溶剤塗料共通>>【適応:無機系素地】